

東濃牧場だより



平成30年8月15日

連日の猛暑もようやく落ち着いてきましたが、まだまだ残暑が続きそうです。牛も私達も猛暑の疲れがこれから出てくることが考えられます。体調管理には十分気を配り、今年の夏を乗り切りましょう！

重要なお知らせ ～初妊牛譲渡価格の改定について～

東濃牧場の初妊牛1頭当たりの育成費は、直近の価格改定時である平成21年度には46万円であったのが、近年の飼料費や燃料費の高騰・高止まりの影響を受け、平成29年度には約63万円まで増大し、赤字額が拡大してきました。そうした中で、公社としては、酪農家の経営負担を軽減するため、飛騨牧場の収益を充当し、東濃牧場の赤字を圧縮することで、初妊牛の譲渡価格を平成21年度から9年間据え置いてきました。

しかし、東濃牧場の赤字は、飛騨牧場の収益では補填仕切れない状況となり、公社の経営を圧迫している状況にあります。

このため、下記のとおり初妊牛譲渡価格を改定（値上げ）させていただくよう、話を進めておりますので、今後の牧場の円滑な運営の為、何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

記

価格改定時期：平成30年10月評価牛から
価格の改定額：中間決算の見込みにより決定
(1頭あたりの値上げ額は10万円を超えない額とします。)

※なお、更なる生産コストの低減により値上げ額を極力低く抑えられるよう努めるとともに、サービス向上に努めてまいります。

※また、10月以降の子牛の引き取り価格についても若干の増額を予定しております。

「東濃牧場の管理運営に関するアンケート」にご協力ください！



東濃牧場では、現在「東濃牧場の管理運営に関するアンケート」調査を実施しています。今年度は、これまでの質問に加え、人工授精、受精卵移植の進め方に関するご意見をうかがう様式となっております。今後の東濃牧場における施設の適正な管理運営、サービスの向上に役立てていきたいと思っておりますので、是非ご回答をお願いいたします。

乳用牛性選別精液による人工授精の複数回実施について

平成30年5月より、農家さんが所有する和牛受精卵の移植については、希望により2回まで実施できるよう運用を見直しました。一部の農家さんから、「乳用牛の性選別精液の授精についても複数回実施できるようにしてほしい。」との要望があったことから、この点についても実施に向けた検討を進めております。現在実施しております上記アンケート調査でも利用希望等をうかがっておりますので、ご意見をお寄せください。

(子牛の上牧については、牧場携帯電話 090-4166-2233 または 牧場電話 0573-56-2737 にご連絡下さい。)

1. 乳用雌子牛の導入状況

年度別導入状況

	H30年7月	H29年7月	H28年7月
年間目標頭数	400頭	400頭	400頭
子牛導入頭数	38頭	25頭	30頭
4月～ 累計頭数 対目標頭数比	152頭 38.0%	95頭 23.7%	113頭 28.2%

7月購入(平均) : 31日齢、体重59kg、66,931円

2. 初妊牛の譲渡状況

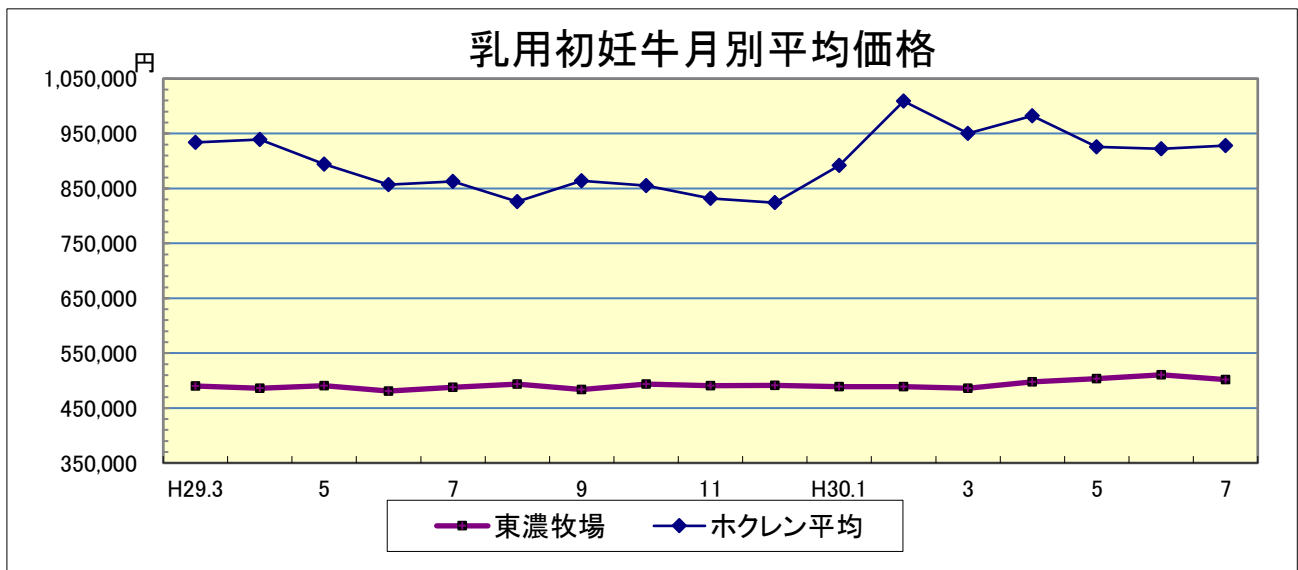
(1)年度別譲渡状況

	H30年7月	H29年7月	H28年7月
年間目標頭数	370頭	366頭	360頭
譲渡頭数	31頭	46頭	36頭
4月～ 累計頭数 対目標頭数比	122頭 32.9%	129頭 35.2%	133頭 36.9%

(2)譲渡価格の推移

7月の北海道市況について、ホクレンの平均価格は、928千円(前月比6千円高)となっています。

(東濃牧場の7月平均譲渡価格:502千円)



3. 初妊牛の発育状況

H30年7月評価牛の発育状況

	体重(kg)	体高(cm)
東濃牧場譲渡牛(H30年7月:21月齢)	550	144
標準発育値(21ヶ月齢)	514	135.6